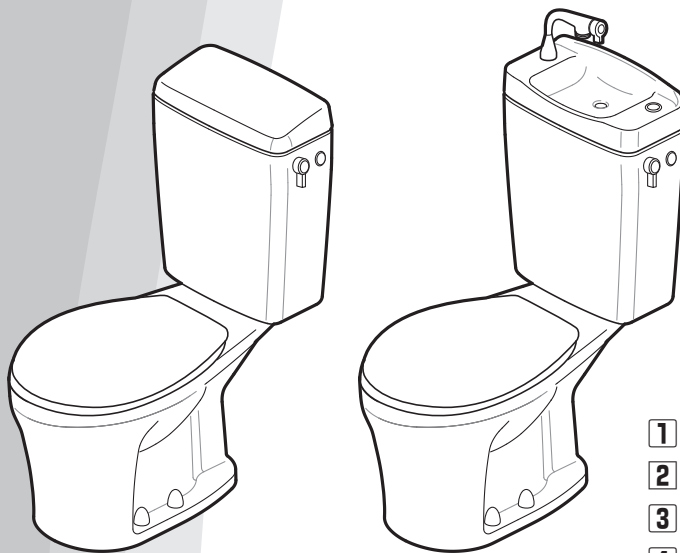


ネポンケイスイセン

プリティーナ



ATW-50
ATW-56

ATW-50N
ATW-56N

ATW-50 シリーズ
ATW-50Nシリーズ
ATW-56 シリーズ
ATW-56Nシリーズ

もくじ

1 安全上のご注意	2
2 製品型式記号と意味	5
3 各部のなまえ	6
4 使用方法	8
4-1 便器に水を流す	8
4-2 手洗栓を使う	8
5 日常の点検・お手入れ	9
5-1 便器・内ボールの掃除	9
5-2 便座・便ふたの掃除	10
5-3 排出部の掃除	11
5-4 給水タンクの掃除	12
5-5 ストレーナーの掃除	
パッキンストレーナーの掃除	13
5-6 止水栓の流量調節	14
5-7 凍結防止ヒーターの点検	15
6 凍結予防	16
6-1 凍結予防	16
6-2 洗浄ガンの水抜き	18
6-3 凍結したときの処置	18
7 故障・異常の見分けかたと処置方法	19
8 仕様	20
■ 定期点検・お客様登録	22
■ 保証とアフターサービス	23

お客様へ

このたびはネポン製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、十分に理解してください。

お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

◎この製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。

1 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
- 表示と意味は、次のようになっています。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負ったり、物的損害[※]の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、業務用施設や栽培物および動植物にかかわる拡大損害を意味します。

- 図記号の意味は、次のようになっています。



回転注意

△は、注意（危険、警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「回転注意」を示します。



分解禁止

⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「分解禁止」を示します。














アース工事をすること

●は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。
左図の場合は「アース工事をすること」を示します。



ネポン指定以外の部品などの取り付けについて

ネポン指定以外の部品などの取り付けおよび使用は、製品の性能を損ねる改造行為となります。改造行為を行った場合、当社は保証期間内でも製品に関する一切の責任は負いません。ネポン指定以外の部品などの使用による事故、機器の故障およびその他のトラブルなどは、すべてお客様の責任の範囲で処置いただくこととなります。

 **警告**

<p> 便器内にたばこを投げ捨てない 火災や漏水のおそれがあります。</p> <p>たばこの投げ捨て禁止</p>	<p> ときどきは電源プラグを抜き、ほこりを除去する 発火・火災のおそれがあります。</p> <p>電源プラグのお手入れをする</p>
<p> 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む 火災のおそれがあります。</p> <p>電源プラグは確実に差し込む</p>	<p> 電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしない 火災や感電のおそれがあります。</p> <p>電源コードを傷めない</p>
<p> 電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かない 火災や感電のおそれがあります。</p> <p>コードでの引き抜き禁止</p>	<p> 凍結のおそれがなくなったら、凍結防止ヒーターの電源プラグを抜く 給水タンク内の温度が上がり、火災のおそれがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
<p> めれた手で、電源プラグにさわらない 感電のおそれがあります。</p> <p>めれ手禁止</p>	<p> 電源プラグは、交流100V以外で 使用しない 交流200Vや直流電源を使用すると、火災や故障のおそれがあります。</p> <p>100V以外使用禁止</p>
<p> 保守点検の決められた項目以外の分解・修理・改造はしない 機器が破損したり、感電や火災のおそれがあります。</p> <p>分解禁止</p>	<p> 浴室など湿気の多い場所で使用しない 浴室等、湿度が高く水がかかる場所で使用しないでください。 火災や感電のおそれがあります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p> 暖房便座や温水洗浄便座などの電気製品付属の場合は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃・お手入れのときに水洗いをしないこと ・電源プラグ・本体や便座に水をかけないこと ・男子小便時に電源プラグ・本体や便座に小便がかからないようにすること <p>残ったアンモニアや水分により基板が腐食し、漏電や感電のおそれがあります。</p> <p>水ぬれ禁止</p>	

 **注意**

<p> 長時間使用しないときは、便座や凍結防止ヒーターの電源プラグを抜く 予期せぬ事故などが起きたとき、事故の増大を防ぎます。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p> 長時間使用しないときは、寒冷地では給水タンクや温水洗浄便座の水を抜く 凍結による破損で漏水し、家財などをぬらすおそれがあります。</p> <p>止水栓を閉め水を抜く</p>
---	--

1 安全上のご注意

⚠ 注意



流量調節

止水栓の流量調節を必ず行う

万一ボールタップまたは手洗栓が故障した場合、給水タンク・手洗ふたから水があふれ他の家財をぬらすおそれがあります。



汚物・トイレ
レットペー
パー以外は
流さない

便器には、汚物・トイレペーパー以外のものを流さない

便器が詰まり汚水があふれて、家財などをぬらすおそれがあります。



禁止

給水タンクのふたを強く押したり、引いたりしない

ふたが落下してけがをしたり、器具を破損するおそれがあります。



元栓必ず閉
める

洗浄ガンの元栓は、使用後に必ず閉める

万一洗浄ガンが破損した場合、他の家財をぬらすおそれがあります。



熱湯禁止

便器・給水タンク・給水管・便座などに熱湯をかけない

破損してけがをしたり、水漏れして家財をぬらすおそれがあります。



大量のトイ
レットペー
パーを流さ
ない

一度に大量のトイレペーパーを便器に流さない

便器が詰まり汚水があふれて、家財などをぬらすおそれがあります。



誤操作注意

小さいお子様やお年寄りが使用するときは、間違った操作や危ないことをしないように、十分に注意する



洗浄剤禁止

給水タンク内に芳香洗浄剤や薬品を入れない

ゴム弁の止水不良、陶器変色の原因になります。



禁止

便器のお手入れには、殺虫剤・塩酸・アルカリの入っているトイレ用洗剤、研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーを使用しない

樹脂製の排便装置・排便管が変形や破損するおそれがあります。中性洗剤を水で薄めて使用してください。



プラスチック
用洗剤使用

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できるプラスチック用洗剤を使用する

以下のものでお手入れをすると、プラスチック部が破損し、けがや感電、火災のおそれがあります。

トイレ用洗剤、研磨剤入りの洗剤、住宅用洗剤、漂白剤
ベンジン・シンナー類など



禁止

強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたや本体の上に乗らない、重いものを乗せない

割れたり、本体が外れて落下し、けがをするおそれがあります。

便器、給水タンクが破損して、室内浸水のおそれがあります。

お願い

便器から飛び出した小便や、掃除のときに床に落ちた洗剤や水は、よく絞ったぞうきんなどでふき取る

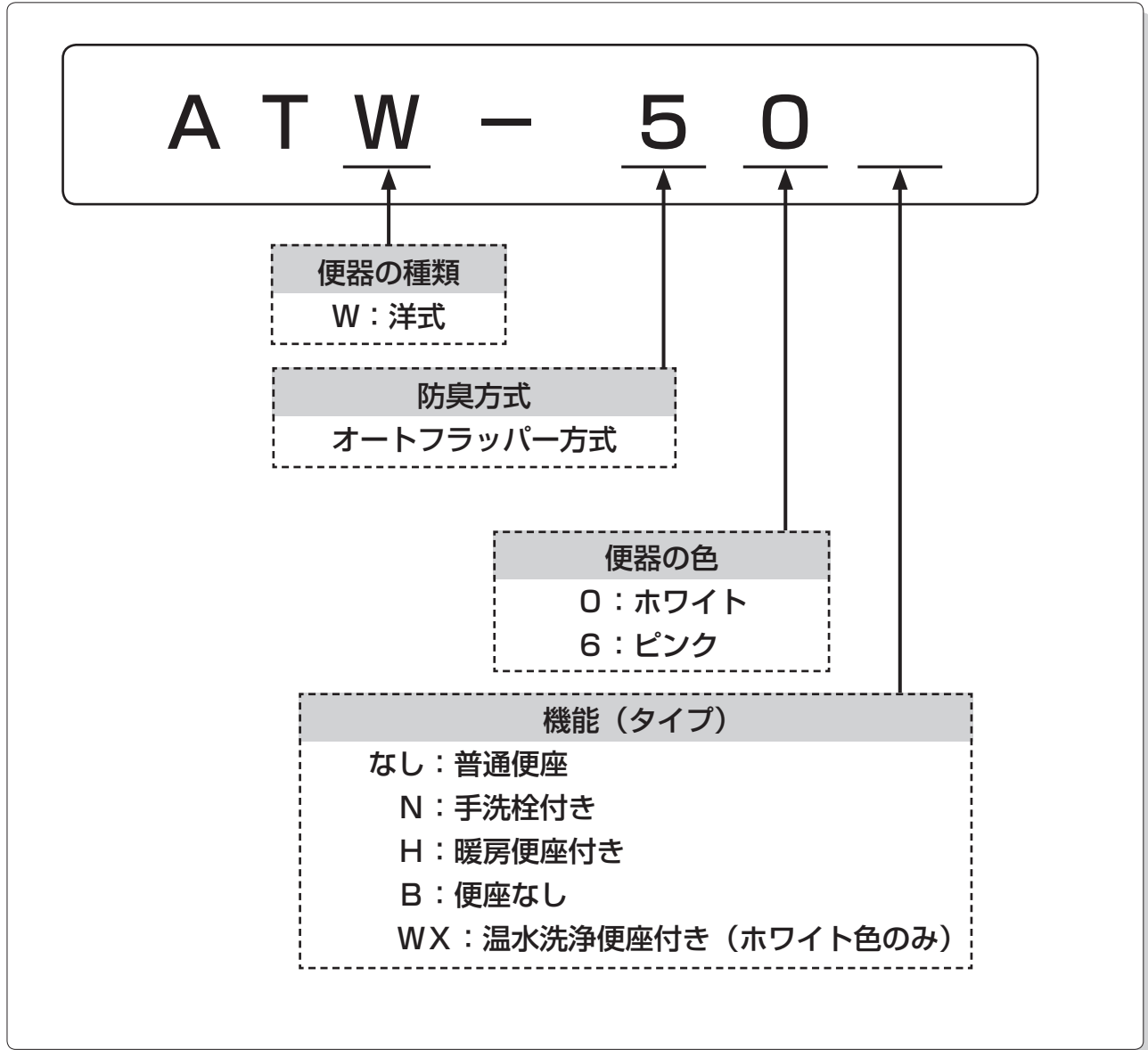
床に黒いシミを作ったり、腐るおそれがあります。

2

製品型式記号と意味

■お買い上げいただいたネポンリティーナの型式は、以下のような意味を表しています。

●取扱説明書の中で、型式の違いにより説明内容が異なる場合があります。



■オートフラッパー方式について

フラッパー弁で、便槽からの臭気を遮断します。

フラッパー弁は、排泄物の重さで下を開き、排出後は自動的に戻ります。

■普通便座・暖房便座・温水洗浄便座を使用する場合は、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。

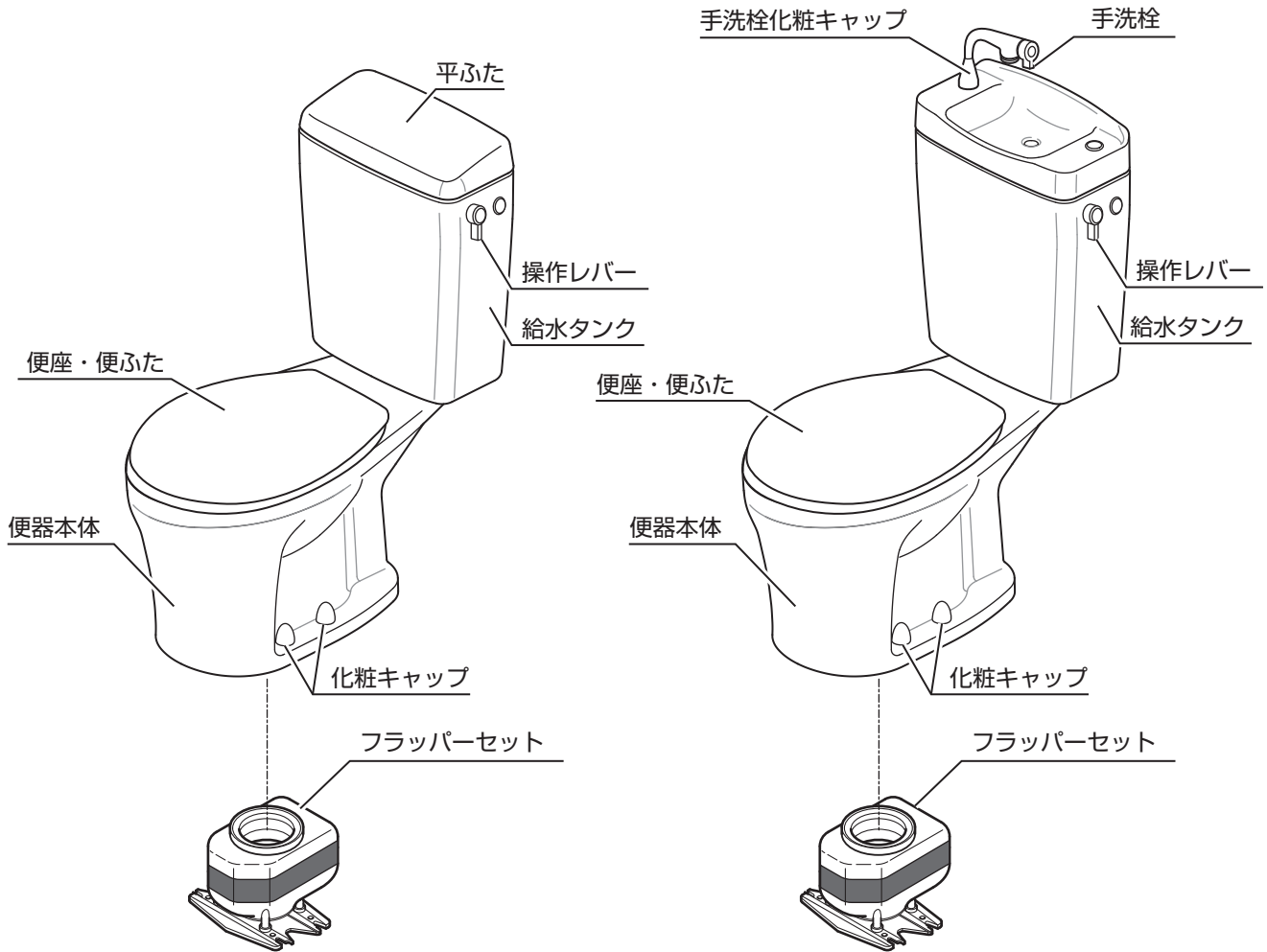
3

各部のなまえ

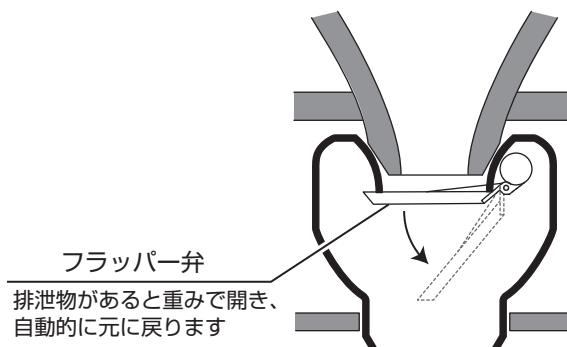
外観図

例：ATW-50(タイプなし)

例：ATW-50N

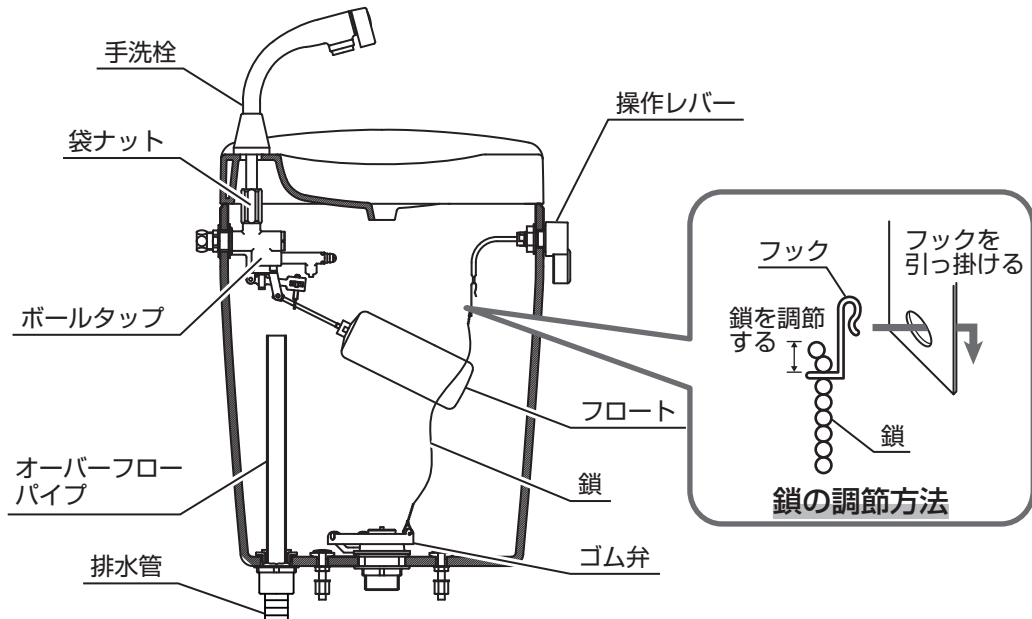


フラPPERセット断面図



給水タンク断面図

例：ATW-50N



付属品

	普通便座	暖房便座	温水洗浄便座	ワンタッチ紙巻器	凍結防止ヒーターセット	洗浄ガン (ドライバー式止水栓)
(タイプなし) Nタイプ	○	—	—	○	—	—
Hタイプ	—	○	—	○	—	—
Bタイプ	—	—	—	○	—	—
WXタイプ	—	—	○	○	—	—

—：付属していない部品については、別売品として用意しています。

4 使用方法



注意

- 強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたや本体の上に乗らない、重いものを乗せないでください
割れたり、本体が外れて落下し、けがをするおそれがあります。
便器・給水タンクが破損して、室内浸水のおそれがあります。

4-1 便器に水を流す

① 操作レバーを引き上げる

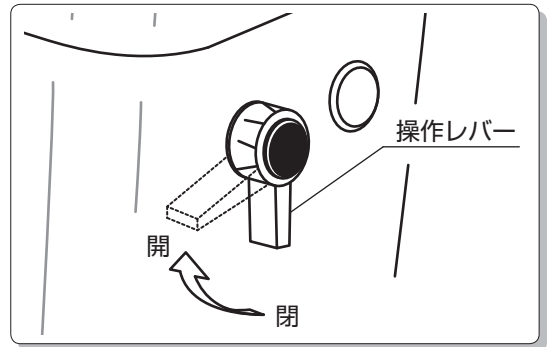
トイレを使ったあと、操作レバーを手前に引き上げます。

◎便器内に水が流れ、洗浄します。

② 操作レバーから手を離す

紙や汚物などが流れ落ちたら、操作レバーから手を離します。

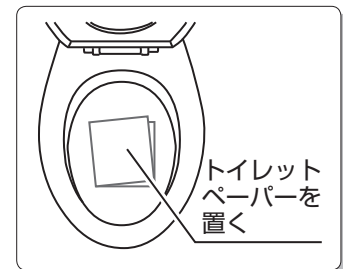
◎便器内の水が止まります。



- 操作レバーを引き上げると約350ミリリットルの水が流れます。長く引き上げた分だけ多く水が流れます。
- 操作レバーを引き上げていると、水は出続けます。水を流しすぎると便槽が短時間でいっぱいになってしまうので、ご注意ください。
- 普通便座・暖房便座・温水洗浄便座の説明は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 汚物の付着が気になる場合は、操作レバーを引き上げて便器内を濡らしてから使用するか、フラッパー弁の上にトイレットペーパーを置いてから使用すると、汚物の付着も少なく洗浄効果も上がります。➡右図参照



4-2 手洗栓を使う Nタイプのみ

① 手洗栓ハンドルを奥に回す（開ける）

◎手洗栓から水が出ます。

② 手洗栓ハンドルを手前に回す（閉める）

◎手洗栓の水が止まります。

お願い

- 使用後は、手洗栓ハンドルを必ず閉めてください。



5

日常の点検・お手入れ



警告

- 暖房便座や温水洗浄便座などの電気製品付属の場合は、
 - ・清掃・お手入れのときに水洗いをしないこと
 - ・電源プラグ・本体や便座に水をかけないこと
 - ・男子小便時に電源プラグ・本体や便座に小便がかからないようにすること残ったアンモニアや水分により基板が腐食し、漏電や感電のおそれがあります。



注意

- 便器・給水タンク・給水管・便座などに熱湯をかけないでください
破損や変色のおそれがあります。
- 便器のお手入れには、殺虫剤・塩酸・アルカリの入っているトイレ用洗剤、研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーを使用しないでください
樹脂製の排便装置・排便管が変形や破損するおそれがあります。
中性洗剤を水で薄めて使用してください。
- プラスチック部のお手入れは、便座に使用できるプラスチック用洗剤を使用してください
以下のものでお手入れをすると、プラスチック部が破損し、けがや感電、火災のおそれがあります。
トイレ用洗剤、研磨剤入りの洗剤、住宅用洗剤、漂白剤
ベンジン・シンナー類など

お願い

- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
製品に傷が付くおそれがあります。

5-1 便器・内ボールの掃除

■ 中性洗剤または水を浸した布やスポンジなどで、汚れをふき取ってください。

■ 内ボールを掃除するときは、プラスチック部品に注意して、トイレ専用の洗剤で掃除してください。

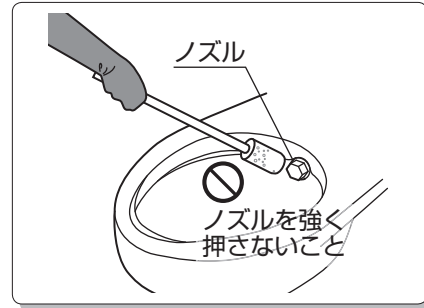
お願い

- 以下のものでお手入れをしないでください。排出部（プラスチック製）や便槽が破損するおそれがあります。
 - ・塩酸の入っているトイレ用洗剤、ベンジン・シンナー類
 - ・ウジ殺し、殺虫剤
 - ・「家庭用品品質表示法、薬事法に基づく表示」のないもの



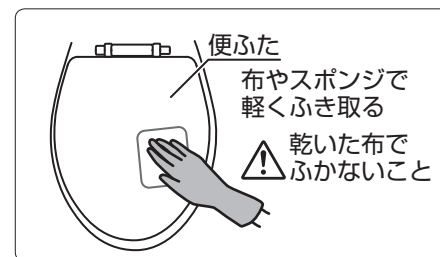
お願い

- ノズルをトイレ用スポンジなどで強く押さないでください。ノズルがずれるおそれがあります。



5-2 便座・便ふたの掃除

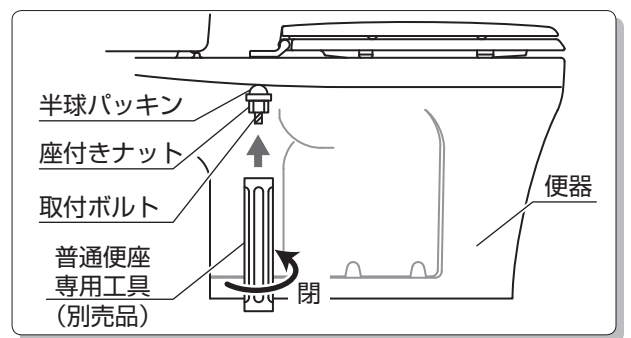
- 中性洗剤または水を浸した布やスポンジなどで、汚れをふき取ってください。
- 普通便座・暖房便座・温水洗浄便座をお使いの場合は、それぞれの取扱説明書に従って掃除してください。



お願い

- 定期的に便器のガタつきやナットの緩みがないことを確認してください。ナットの緩みや便器のガタつきがある場合は、確実にナットを締めつけてください。

普通便座専用の工具（右図）を別売品として用意しています。



5-3 排出部の掃除

洗浄ガンの使いかた 洗浄ガンは別売品です

■洗浄ガンを使用すると、排出部などに付着した汚物を手軽に洗い落とすことができます。

- ① 洗浄ガン水量調節ハンドルを開ける
- ② 汚れの付着しているところに洗浄ガンを向ける
- ③ 洗浄ガンの引き金を引く
ノズルから水が出ます。

お願い

●強く引き金を引くと、水が勢いよく飛び出ます。ご注意ください。

- ④ 洗浄ガン水量調節ハンドルを閉める
洗浄ガン使用後は、洗浄ガン水量調節ハンドルを必ず閉めてください。



フラッパーの掃除

■中性洗剤または水を浸した布やスポンジなどで、汚れを軽くふき取ってください。

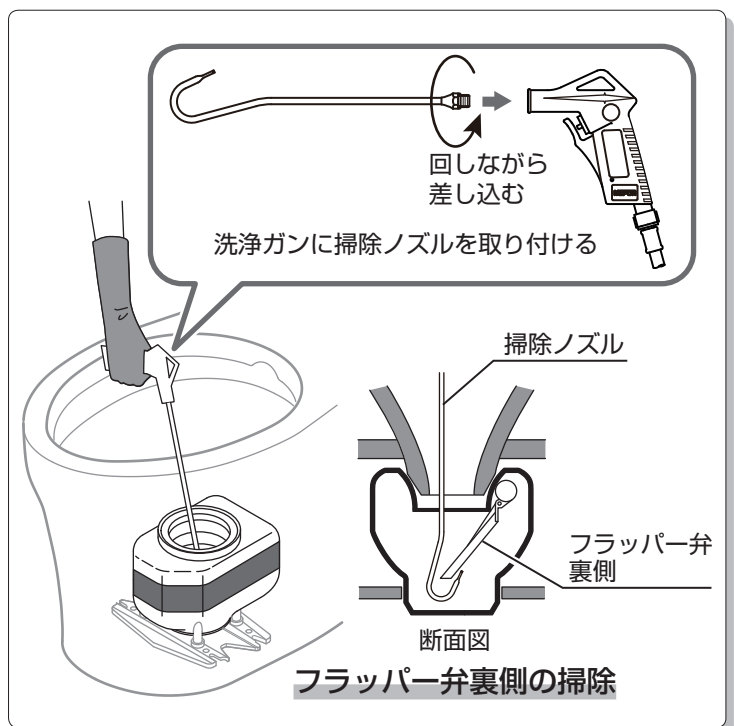
■洗浄ガンを使用して、フラッパー弁などに付着した汚物を洗い落としてください。

洗浄ガンは別売品です。

- ◎フラッパー弁の裏側を掃除するときは、掃除ノズルを取り付けてください。➡右図参照

お願い

- 掃除ノズルは、フラッパー弁裏側の掃除以外に使用しないでください。
- フラッパー弁の裏側に汚物などが付着すると、フラッパー弁のバランスが崩れて開きっぱなしになることがあるので注意してください。



5-4 給水タンクの掃除

■給水タンク内が水あかやほこりなどで汚れているときは、給水タンクの水を抜き、洗ってください。このとき、ゴム弁の掃除もしてください。

■凍結防止ヒーター（別売品）を使用している場合は、電源プラグを抜いてから掃除してください。

① 止水栓を閉める

給水タンクの止水栓（またはドライバー式止水栓）を閉めます。

② 給水タンクの水を抜く

オーバーフローパイプを抜き、給水タンクの水を排水します。

③ 給水タンク・ゴム弁の掃除をする

中性洗剤または水を浸した布やスポンジなどで、汚れを軽くふき取ってください。

お願い

●ゴム弁を掃除するとき、ゴム弁の裏面に傷を付けないでください。傷が付くと、水漏れのおそれがあります。

④ オーバーフローパイプを取り付ける

②で外したオーバーフローパイプを元の位置に取り付けます。

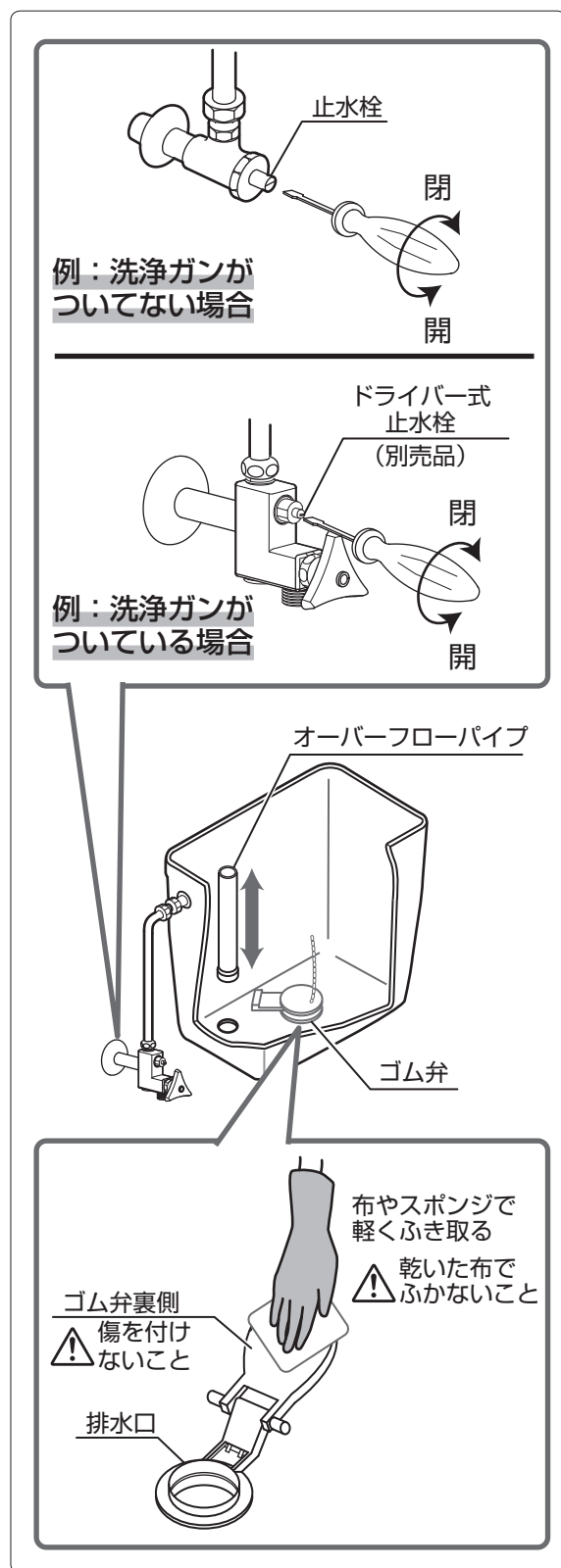
⑤ 止水栓を開ける

①で閉めた止水栓を開けます。
水漏れがないことを確認します。

⑥ 止水栓の流量調節をする

掃除後は、止水栓の流量調節をしてください。

➔14 ページ「5-6 止水栓の流量調節」参照

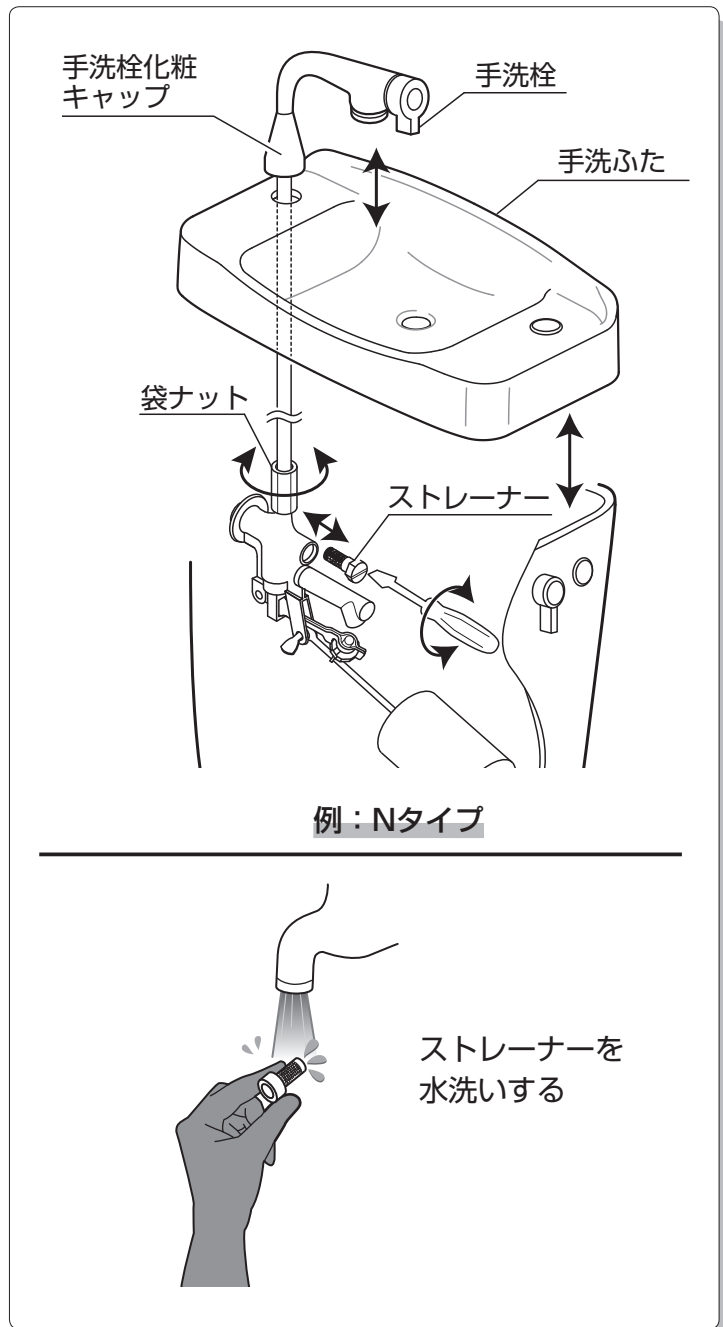


5-5 ストレーナーの掃除 **Nタイプ** / パッキンストレーナーの掃除 **Nタイプ以外**

- 手洗栓付きの場合 **Nタイプ** はストレーナーを掃除してください。
- 手洗栓がない場合 **Nタイプ以外** はパッキンストレーナーを掃除してください。
- ストレーナーまたはパッキンストレーナーにごみが詰まると、給水タンクに給水されなくなることもあるので、こまめに掃除してください。

手洗栓付きの場合 **Nタイプ**

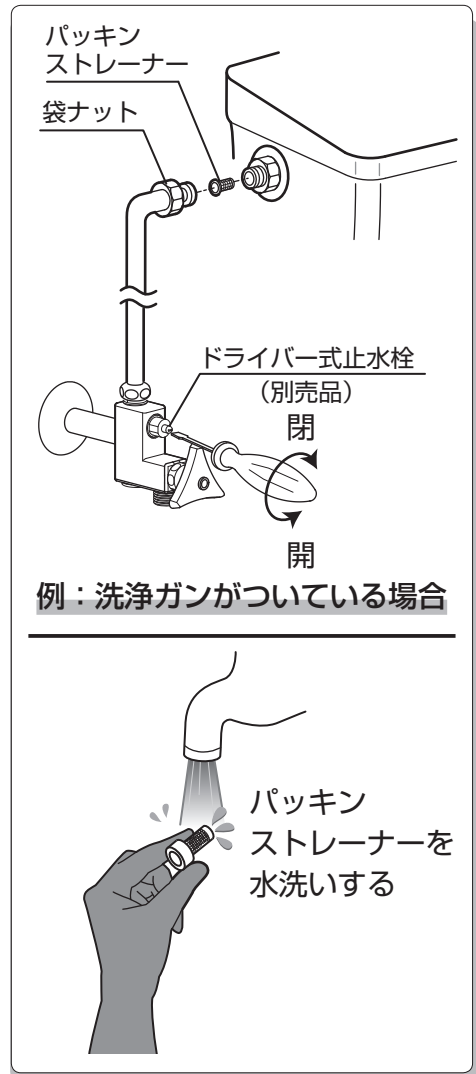
- ① 止水栓を閉める
給水タンクの止水栓（またはドライバー式止水栓）を閉めます。
- ② 手洗ふたを外す
 - ① 手洗栓化粧キャップを上はずらし、手洗ふたを持ち上げ、袋ナットを緩めます。
 - ② 手洗栓を外し、手洗ふたを取り外します。
- ③ ストレーナーを取り出す
マイナスドライバーを回して、ストレーナーを取り出します。
- ④ ストレーナーの掃除をする
ストレーナーに付いているごみを水洗いして取り除きます。
- ⑤ ストレーナーを取り付ける
③で外したストレーナーを元の位置に取り付けます。
- ⑥ 手洗ふたを取り付ける
 - ① 手洗栓を手洗ふたに取り付けます。
 - ② 手洗栓をボールタップに接続し、袋ナットで締めます。
 - ③ ガタつかないように、給水タンクに手洗ふたを取り付けてください。
- ⑦ 止水栓を開ける
①で閉めた止水栓を開けて、水漏れがないことを確認します。
- ⑧ 止水栓の流水量調節をする
掃除後は、止水栓の流水量調節をしてください。
➔14 ページ「5-6 止水栓の流水量調節」参照



5 日常の点検・お手入れ

手洗栓がない場合 **Nタイプ以外**

- 1 止水栓を閉める**
給水タンクの止水栓（またはドライバー式止水栓）を閉めます。
- 2 パッキンストレーナーを取り出す**
袋ナットを緩め、パッキンストレーナーを取り出します。
- 3 パッキンストレーナーの掃除をする**
パッキンストレーナーに付いているごみを水洗いして取り除きます。
- 4 パッキンストレーナーを取り付ける**
②で外した袋ナットとパッキンストレーナーを元の位置に取り付けます。
- 5 止水栓を開ける**
①で閉めた止水栓を開けて、水漏れがないことを確認します。
- 6 止水栓の流量調節をする**
掃除後、止水栓の流量調節をしてください。
➔14 ページ「5-6 止水栓の流量調節」参照



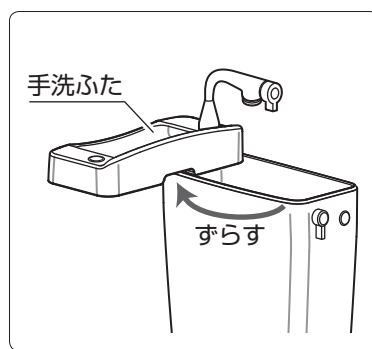
5-6 止水栓の流量調節

■万ボールタップまたは手洗栓が故障し水が止まらないとき、給水タンク・手洗ふたから水があふれないようにするために、流量調節を必ず行ってください。

- 1 止水栓を閉める**
給水タンクの止水栓（またはドライバー式止水栓）を閉めます。

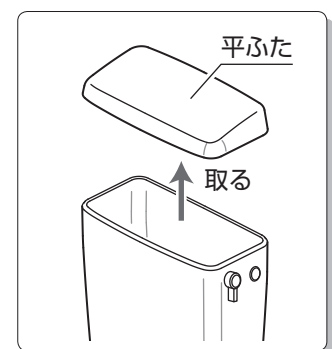
手洗栓付きの場合 **Nタイプ**

- 2 手洗ふたをずらす**
給水タンクに腕が入る程度までずらします。
※手洗栓が接続されているため、手洗ふたは完全には外れません。



手洗栓がない場合 **Nタイプ以外**

- 2 平ふたを取る**



③ 止水栓を開ける

フロートを手で押さえ、止水栓を徐々に開けます。

○水がオーバーフローパイプよりあふれ始めます。

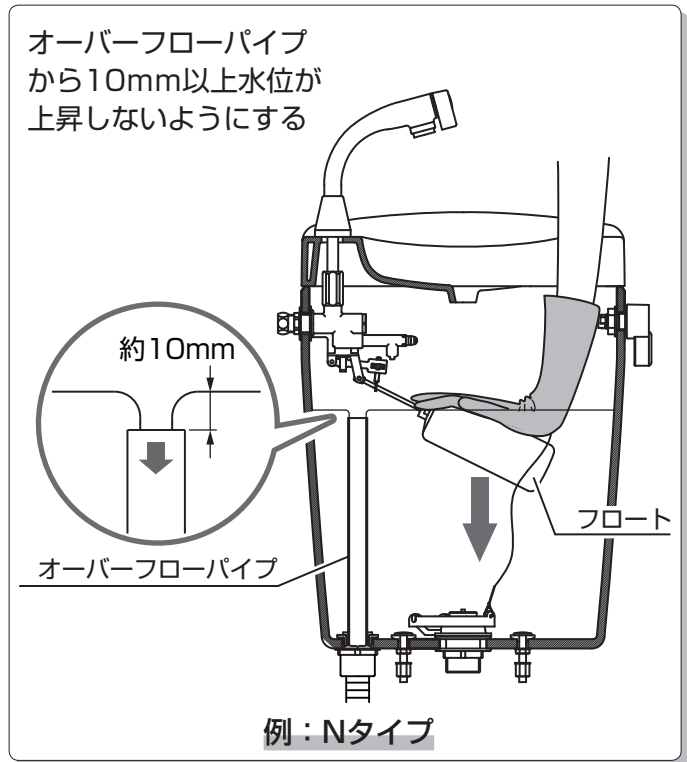
④ 止水栓を調節する

①オーバーフローパイプより10mm以上水位が上昇しないように、止水栓の開きを調節します。

②止水栓の調節が終了したら、フロートから手を放します。

⑤ ふたを元の位置に戻す

②で外した平ふた（Nタイプは手洗ふた）を元の位置に戻します。



手洗栓付きの場合 **Nタイプ** は以下の作業も行ってください。

- 手洗栓ハンドルを全開にしたときに、手洗ふたから水があふれ水の飛び跳ねがある場合は、止水栓を閉めながら流水量を調節してください。

温水洗浄便座付きの場合は以下の作業も行ってください。

- 止水栓で流量調節をしたあと、温水洗浄便座の洗浄水量を確認してください。
- 温水洗浄便座の洗浄水量を見ながら、止水栓で調節をしてください。

5-7 凍結防止ヒーターの点検

凍結防止ヒーターは別売品です



警告

- 電源プラグに水をかけないでください
感電のおそれがあります。
- 凍結防止ヒーターは、凍結のおそれがなくなったら電源プラグを抜いてください
給水タンク内の温度が上がり、火災のおそれがあります。

■凍結防止ヒーターを使用しているときは、以下の項目を点検してください。

- 凍結防止ヒーターから異臭がしない
- 凍結防止ヒーター部品に傷や変形がない
- 水が給水タンクに入っている

6

凍結予防



警告

- 電源プラグに水をかけないでください
感電のおそれがあります。
- 凍結防止ヒーターは、凍結のおそれなくなったら電源プラグを抜いてください
給水タンク内の温度が上がり、火災のおそれがあります。
- 暖房機器で暖房する場合は、便器・便座・排水管などに近づけないでください
火災のおそれがあります。
- 便器・給水タンク・給水管・便座などに熱湯をかけないでください
破損や変色のおそれがあります。



注意

- 暖房機器でトイレルームを暖房するときは、便器・便座・排水管に近づけ過ぎないでください

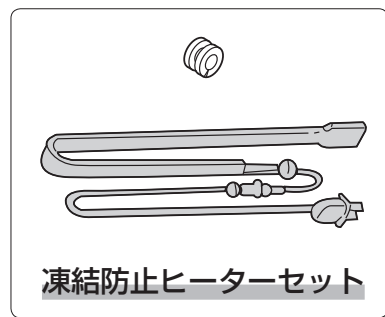
6-1 凍結予防

- 寒い時期に水が凍る地域では、凍結によって給水タンクなどが破損するおそれがあります。
- 次の方法で凍結予防をしてください。

ヒーター方式

凍結防止ヒーターは別売品です

- 凍結防止ヒーターのプラグをコンセントに差し込み通電させてください。
- 凍結防止ヒーターは、凍結のおそれなくなったら電源プラグを抜いてください。



洗浄ガンが付いている場合は以下の作業も行ってください。

- 洗浄ガンの水抜きをします。水抜き方法は➡18 ページ「6-2 洗浄ガンの水抜き」参照

室内暖房方式

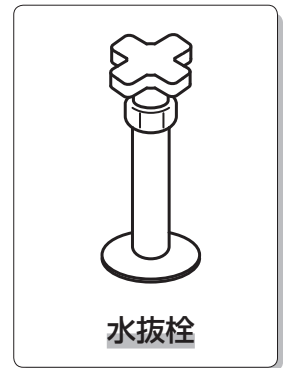
- 暖房機器でトイレ内を0℃以上になるように暖房してください。
そのとき、暖房機器を便器・便座・排水管に近づけないでください。
変色・変形・故障のおそれがあります。

洗浄ガンが付いている場合は以下の作業も行ってください。

- 洗浄ガンの水抜きをします。水抜き方法は➡18 ページ「6-2 洗浄ガンの水抜き」参照

水抜き方式（水抜き栓工事を行っている場合のみ／寒冷地向け）

- 水抜き栓（市販品）工事を行っている場合は、次の方法を参考にしてください。
また、水抜き栓の種類によって方法が異なる場合がありますので、詳しくは水抜き栓の取扱説明書に従ってください。
- 凍結防止ヒーター（別売品）を使用している場合は、電源プラグを抜いてから作業をしてください。



① 水抜き栓を回す

水抜き栓を回して、器具接続の配管部の水を抜く準備をします。

洗浄ガンが付いている場合は以下の作業も行ってください。

- 洗浄ガン水量調節ハンドルを全開にします。

② 給水タンクの水を抜く

止水栓（またはドライバー式止水栓）を開き、オーバーフローパイプを抜き、給水タンクの水を排水します。

- ➔12 ページ「② 給水タンクの水を抜く」参照

洗浄ガンが付いている場合は以下の作業も行ってください。

- 洗浄ガンの水抜きをします。
- ➔18 ページ「6-2 洗浄ガンの水抜き」参照

③ オーバーフローパイプを取り付ける

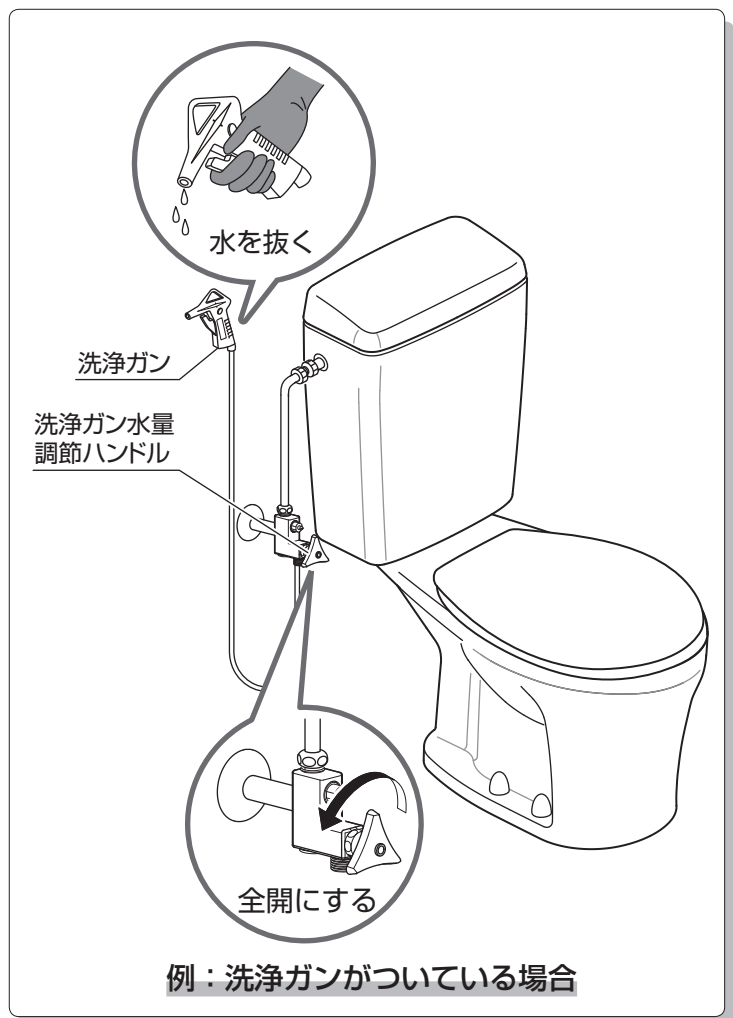
②で外したオーバーフローパイプを元の位置に取り付けます。

- ➔12 ページ「④ オーバーフローパイプを取り付ける」参照

④ 止水栓の流水量調節をする

止水栓の流水量調節をしてください。

- ➔14 ページ「5-6 止水栓の流量調節」参照

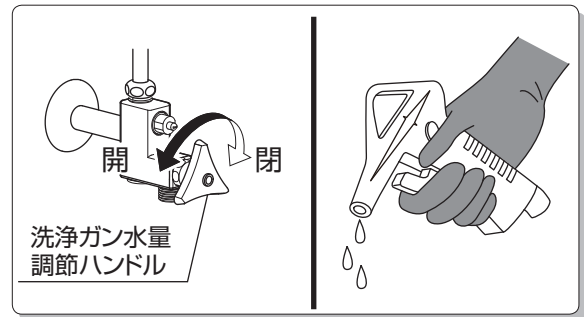


6-2 洗浄ガンの水抜き

洗浄ガンは別売品です

■凍結のおそれがある場合は、洗浄ガンも水抜きしてください。
水抜きしないと、洗浄ガンのホースが破損することがあります。

- ① 洗浄ガン水量ハンドルを閉める
洗浄ガン水量ハンドルを時計回りに止まるまで回し、止水します。
- ② 洗浄ガンの水抜きをする
洗浄ガンの引き金を引いて、洗浄ガンのノズルから水が出なくなるまで水抜きをしてください。



6-3 凍結したときの処置

■もし凍結してしまった場合は、次の方法で解消してください。

- ① 給水タンクの水の凍結を解消する
 - ① 氷をぬるま湯で溶かすか、割って取り出してください。
 - ② 氷が溶けた、または取出したら、各器具に異常がないことを確認してください。
- ② 操作レバーを引き上げる
操作レバーを手前に引き上げて、以下を確認してください。
 - ・ノズルから水が出た場合 ⇒ 凍結は解消しました。使用できます。
 - ・ノズルから水が出ない場合 ⇒ 導水管が凍結しています。
以下③の手順に従い、凍結を解消してください。

- ③ 導水管の凍結を解消する
 - ① 止水栓・ドライバー式止水栓を閉めます。
 - ② オーバーフローパイプを抜き、給水タンクの水を抜きます。
 - ③ ゴム弁を開け、穴の中へぬるま湯を注ぎ込みます。
◎ノズルから水が出るまで行ってください。
- ④ 操作レバーを引き上げる
操作レバーを手前に引き上げて、水が出ることを確認してください。



お願い

●給水タンク内の器具に無理な力を加えたり、熱湯は使用しないでください。

7

故障・異常の見分けかたと処置方法



警告

● 保守点検の決められた項目以外の分解・修理・改造はしないでください
機器が破損したり、感電や火災のおそれがあります。

- 修理を依頼される前に一度確認してください。
- 原因がわからないときや故障が確認されたとき、または処置をしても直らない場合は、必ずお買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所までご連絡ください。
- 処置のあとは、水漏れがないことを必ず確認してください。

状 況	原 因	処置方法
操作レバーを引き上げても水が出ない	止水栓が閉まっている	止水栓を開ける
	パッキンストレーナーにごみが詰まっている	パッキンストレーナーを掃除する
	ボールタップにごみが詰まっている	お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください
	鎖が外れている	給水タンクのふたを取り、レバーに鎖を取り付ける
止水栓を全開しても手洗栓からの水量が少ない	ストレーナーにごみが詰まっている	ボールタップのストレーナーを掃除する
ボールタップの水が止まらない	ゴム弁が消耗している	止水栓を閉じて水を止めてから、お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください
	ボールタップにごみが詰まっている	お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください
	鎖の長さが短すぎる (ゴム弁が閉じたときに鎖がいっぱい引っ張られている)	鎖を長くする
フラッパー弁が開きにくい	排便管内に物が詰まっている	お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください
	便槽が満タンになっている	専門業者に依頼して、汚物を汲み取る
	フラッパー弁の裏に汚物が付着している	洗浄ガンで掃除する
フラッパー弁が閉まらない	臭突ファンの臭気の引きが強すぎる	お買い上げの販売店またはお近くのネポン営業所に連絡してください
	フラッパー弁の裏に汚物が付着している	洗浄ガンで掃除する
便器へ流れる水の勢いが弱い	鎖の長さが長すぎる (ゴム弁が閉じたときに鎖がたるみすぎている)	鎖を縮める

8

仕様

型式	ATW-50・56	ATW-50N・56N
形状	洋風大便器	
防臭方式	オートフラッパー方式	
材質	便器	陶磁器
	給水タンク	陶磁器
	便座・便ふた	PP製
	防臭部	ABS製
貯水タンク容量	約13L (リットル)	約12L (リットル)
給水方式	ボールタップ自動給水	
操作方法	操作レバー方式 (ハンドル・レバー式)	
洗浄水量※1	約350mL (ミリリットル)	
手洗栓	なし	ハンドルレバー泡沫式
電源※2	AC100V 50/60Hz	
製品質量	約38kg	約39kg
便槽	汲み取り式便槽	
記号説明	N：手洗栓付き B：便座なし H：暖房便座付き WX：温水洗浄便座付き	

※1：洗浄水量は当社標準水量で、操作レバーを長く引き上げた分だけ水が多く出ます。

※2：電源はHタイプ・WXタイプ・凍結防止ヒーターセット（別売品）を使用する場合



定期点検・お客様登録

定期点検について



注意

- 定期的に点検・整備を受けてください
整備不良がありますと、事故のおそれがあります。

この製品は、定期点検が必要です。

この製品の性能を維持し、お客様が安全にお使いいただくために、定期点検（有料）をお受けください。

定期点検のお申し込み、内容や手続きに関するお問い合わせは、お近くのネポン営業所、またはサービスセンターまでご連絡ください。

また、製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接お申し込みいただけます。必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

定期点検のお申し込み・お問い合わせは…

お近くのネポン営業所 または サービスセンター

FAXによる定期点検のお申し込みは…

FAX  0120 - 926413

お客様登録について

ネポン製品をご購入いただいたお客様には、「お客様登録」をお願いしております。

「お客様登録」をしていただきますと、定期点検のご案内や、お使いの製品についての重要なお知らせなどをお届けします。

製品に同封の「お客様登録用紙」に必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてご登録いただくか、ネポンホームページの登録フォームよりご登録いただきますようお願いいたします。

FAXによるお客様登録は…

FAX  0120 - 926413

インターネットによるお客様登録は…

<http://www.nepon.co.jp/>



保証とアフターサービス

保証について

- この製品は、保証書を別途添付しています。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。
保証期間中でも有料となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後12年です。
補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

19 ページ「故障・異常の見分けかたと処置方法」に従ってお調べいただき、なお異常があるときは、元電源を切り（電源プラグがある場合は、電源プラグを抜き）、止水栓を閉め給水を止めて、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接修理をお申し込みいただけます。
必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

■保証期間中は…

修理に関しては保証書をご覧ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは…

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・交通費から構成されています。

技術料…故障した商品を正常に修復するための料金です。

部品代…修理に使用した部品代金です。

交通費…車両・移動に必要な料金です。

■ご連絡いただきたい内容

- 品名 ●型式
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- お名前 ●電話番号
- ご住所（付近の目印などもあわせてお知らせください）
- 訪問希望日

修理のご用命は…

お買い上げの
販売店

または


お近くの
ネポン営業所

ご相談

サービスセンター

☎(046) 247-3195

月曜日～金曜日 9:00～17:00

FAX  0120-926413

お買い上げ年月日／

年 月 日

お買い上げ販売店／

電話番号 () -

お客様へ

お買い上げ年月日、
販売店名を記入してください。
サービスを依頼される時、
お役に立ちます。

ネポン株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

URL : <http://www.nepon.co.jp/>